

牛個体識別全国データベース利用請求書記入上の注意

1. 利用請求の方法について

- 令和5年9月14日付で牛個体識別情報の利用請求手続に使用する請求書の記名欄及び同意書の確認欄の押印を廃止したことから、電子ファイルでの利用請求を受け付けることが可能となりました。
メールにより利用請求する場合は、以下のメールアドレスに送信してください。
送信先：id_jouhouka@nlbc.go.jp

2. 利用請求書の記入内容について

- (1) 利用請求者の氏名又は名称については、提供費用の契約に関する手続を伴うことがあるため、組織名とともに、代表者又は契約責任者の氏名又は名称を記入してください。
- (2) 利用目的については、「同意管理者の飼養状況の確認のため」、「〇〇事業参加条件の確認のため」、「納税申告の資料作成のため」などのように、明確に記入してください。
- (3) 利用する情報の範囲については、成果物の提供の場合は、補助事業等の要件を満たすために必要な情報の種類や期間等を明確に記入してください。特に提供項目の指定がない場合は、家畜改良センターで用意している様式により、管理者牛群情報等を提供します。
オンライン情報提供の場合は、各情報提供システムから管理者毎の牛群情報が提供されますので、「管理者牛群情報」と記入してください。
- (4) 利用者（担当者）の氏名及び連絡先は、記入内容についてのお問い合わせや提供データの送付先として必要なため、漏れのないよう記入してください。
- (5) その他の欄には、提供データのファイル形式（Excel 又は CSV）、パスワードの指定、提供時期、利用システムの名称など、留意事項がありましたら記入してください。

3. 同意書の記入内容について

- (1) 同意書の利用者の欄については、牛の管理者に対し、同意する相手がわかりやすいように、利用者を具体的に記入してください。
成果物提供の場合は、提供情報の受領窓口を念頭に置いて、組織、担当部署、担当者氏名等を記入してください。
オンライン情報提供の場合は、利用者と同意者の紐付け情報を牛個体識別データベースに登録するため、組織、担当部署名及び管理者コードを記入してください。情報提供システムにより継続的に情報を利用するため、個人名を記入しなくても差し支えありません。
- (2) 連記式の別記様式を使用する場合は、同意書の鑑にはチェックの記入は不要です。別記の本人の確認欄にそれぞれチェックを記入してください。
- (3) 連記式の別記様式は、家畜改良センターでの同意書の確認及びデータベース登録を効率的かつ正確に行うため、データ形式で取り扱うことができるよう、Excel 様式での作成をお願いします。検索サービスから様式をダウンロードし、必要事項を記入して（セル内は改行（Alt Enter）しないでください）、Excel ファイルを利用請求書とともに添付して、メール送信してください。
（同意書が文書ファイルや画像ファイルの場合は、あらためてデータファイルでの作成をお願いすることがあります。）
- (4) 補助事業等での情報提供システム利用のため、独自農家コード、独自農家名称の登録が必要な場合は、Excel 様式の備考欄の列を増やして、必要事項を項目毎に記入してください。
- (5) 口頭でも契約行為が成立するという見解から、同意の取り付けに当たっては、牛個体識別情報に含まれる個人情報の利用について、利用者から牛の管理者に丁寧に説明し、了承を得られたことが確認できた場合は、同意書のチェックの記入は代筆等でも差し支えありません。
- (6) 家畜改良センターでは、同意書の記載内容と牛個体識別データベースの農家マスタに登録されている管理者等コード番号、氏名又は名称、飼養地住所を照合し、一致していることを確認できた場合に情報提供します。一致していない場合は、照合結果を通知する際に不一致をお知らせしますので、同意書を再確認し、修正の上再提出してください。

4. 同意書に代えて提供対象者の一覧を提出する場合

- (1) 農協等において、同意書を自ら保管し、利用請求書に提供対象管理者の一覧を添付して提出する場合は、別紙3の注2)に記載しているとおり様式に準じて利用請求書を作成することとしていますので、「当該管理者の同意書」を「当該管理者の一覧」に書き換えて提出してください。
- (2) 当該管理者の一覧は、同意書様式に準じた「本人確認」のない任意の様式で結構です。管理者コード、氏名又は名称、飼養地住所など、対象の管理者が特定できるリストをご提出ください。
- (3) 同意の取り付けに当たっては、同意書の様式は利用規程で規定した様式のほか、任意の様式であっても問題ありません。また、複数の利用目的について、一括して同意を取り付ける様式とすることも可能です。

5. 変更届、追加請求、中止届等について

- (1) 情報提供先の担当者が変わった場合は、家畜改良センターでも連絡先として必要な情報であることから、変更届により届け出るように定めていますので、ご協力をお願いします。
- (2) 別紙5、6、7及び9の「〇〇年〇〇月〇〇日付利用請求」の記述は、家畜改良センターでの申請内容に係る作業の際にも、対象を特定するために必要な情報となります。(利用請求が複数回行われていた場合は、日付が記入されていないと、どの請求に対する依頼かわかりにくい場合があります。)
対象となる元の利用請求の日付がわからない時は、申請に先立ち家畜改良センターまでお問い合わせください。

以上

利用請求書記入例

別紙3（第4条(3)関係）

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用請求書

令和〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者	〇〇畜産振興協会										
氏名又は名称	会長 県畜 太郎										
住所又は所在地	〇〇県◇◇市▽▽123										
注1) 管理者等 コード番号	<table><tbody><tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></tbody></table>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条(3)の規定に基づき、別添のとおり当該管理者の同意書を添え、下記について請求します。

記

- 利用目的
〇〇支援事業の要件確認のため
- 利用する情報の範囲
管理者牛群情報
- 利用者（担当者）の氏名及び連絡先
 - 所属部課名（氏名）：事業第一課 牛野 肉好
 - 電話番号：000-644-5151
 - メールアドレス：ushiushi@xxxx.gr.jp
- 情報提供の方法
 - 提供方法：☐電子メール ☐郵送 ☒オンライン情報提供システム
 - 提供形態：☒データファイル ☐画像ファイル ☐印刷物
- その他の連絡事項

注1) 本様式で請求する利用者が管理者等コード番号を有している場合は、番号を記入すること。

注2) 第4条（3）のただし書きの規定に基づき、同意管理者の同意書に代えて、管理者コード、氏名又は名称、飼養地住所等の一覧を添付して請求する場合は、本様式に準じて利用請求書を作成すること。

（日本産業規格A4）

記入例（オンライン情報提供の場合）

別添

同意書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

注1)

同意管理者

氏名又は名称

別記のとおり

本人の確認

☐

飼養地住所

管理者等コード番号

私は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条(3)の規定により、下記1の利用者が、下記2の利用目的のため、家畜改良センターより、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法施行規則（平成15年農林水産省令第72号）第6条に係る私の情報を取得することに同意します。

記

管理者等コード番号（利用者コード）を必ず記載

1 利用者 注2)

(氏名又は名称、利用者コード)

(住所又は所在地)

〇〇畜産振興協会 □□課
〇〇県◇◇市▽▽123

利用者コード 0000000000

☆☆農業協同組合 □□課
〇〇県☆☆市◇◇567

利用者コード 0000000000

2 利用目的 注3)

注1) 同意管理者が複数の場合は、氏名又は名称の欄に「別記のとおり」と記入し、別記に同意管理者の管理者コード、氏名又は名称、飼養地住所及び本人の確認を別途記入すること。

注2) 別紙3の利用者について、氏名又は名称（所属部署まで）を記載するとともに、オンライン情報提供システム利用の場合は管理者等コード番号（利用者コード）を、その他の場合は担当者名を記載すること。

注3) 別紙3の利用目的と一致すること。

別記

同意管理者

	管理者等 コード番号	氏名又は名称	飼養地住所	本人の 確認	備考
1	1234567890	酪農 太郎	〇〇県××市□□1234	☒	
2	1112223334	酪農 次郎	〇〇県▽▽市**4321	☒	
3	1112223389	株式会社 ミルク農場	〇〇県▽▽市**5678	☒	
4	1112223399	株式会社 養牛農場 代表取締役 養牛一郎	〇〇県▽▽市**5699	☒	
5				☐	
6	<u>「氏名又は名称」記入の注意点</u> 牛個体識別台帳に登録されている牛の管理者の名称をご記入ください。 管理者の名称がご不明の場合は、当該管理者が繋養している牛の個体識別番号を「牛の個体識別番号検索サービス」で検索すると、当該管理者の名称が表示される場合があります。名称が表示されずご不明な場合は、お近くの農政局にご照会ください。 <u>「飼養地住所」記入の注意点</u> 牛個体識別台帳に登録されている飼養地住所をご記入ください。牛個体識別台帳に登録されていない住所を記載した場合は同意確認が出来ませんのでご注意ください。 <u>「本人の確認」記入の注意点</u> 管理者牛群情報その他の個人情報を含む情報の取得について、当該管理者が同意した場合は、「本人の確認」の欄にチェックを記入してください。				
7					
8					
9					
10					
11				☐	
12				☐	
13				☐	
14				☐	
15				☐	

記入例（成果物情報提供の場合）

別添

同意書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

注1)

同意管理者

氏名又は名称

酪農 太郎

本人の確認



飼養地住所

〇〇県××市△△1234

管理者等コード番号

1234567890

私は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条(3)の規定により、下記1の利用者が、下記2の利用目的のため、家畜改良センターより、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法施行規則（平成15年農林水産省令第72号）第6条に係る私の情報を取得することに同意します。

記

管理者等コード番号（利用者コード）
又は担当者の役職、名前を必ず記載

1 利用者 注2)

（氏名又は名称、利用者コード）☆☆農業協同組合 営農課 利用者コード 0000000000

（又は 酪農 一郎）

（住所又は所在地）〇〇県☆☆市◇◇567

2 利用目的 注3)

注1) 同意管理者が複数の場合は、氏名又は名称の欄に「別記のとおり」と記入し、別記に同意管理者の管理者コード、氏名又は名称、飼養地住所及び本人の確認を別途記入すること。

注2) 別紙3の利用者について、氏名又は名称（所属部署まで）を記載するとともに、オンライン情報提供システム利用の場合は管理者等コード番号（利用者コード）を、その他の場合は担当者名を記載すること。

注3) 別紙3の利用目的と一致すること。